

2018年4月1日～2024年3月31日の間に 当院において脳卒中リハビリテーション治療を受けられた方及び ご家族の方へ

「脳卒中患者におけるリハビリテーション効果と予後予測の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	理学療法士	吉田耕治
研究分担者	川崎医科大学附属病院	リハビリテーションセンター	理学療法士	岡田有司
			理学療法士	白神良樹
			理学療法士	小田健太
			理学療法士	小嶋由己
			理学療法士	伊藤智崇
			理学療法士	弥久末彩加
			理学療法士	鈴木啓太
			理学療法士	都竹貴志
	川崎医科大学リハビリテーション医学		教授	花山耕三
			准教授	平岡崇
			講師	山本五弥子

1. 研究の概要

脳卒中に対する血管内治療をはじめとした脳卒中治療自体の進化や、ニューロリハビリテーションやロボットを使用したリハビリテーションなどにより脳卒中リハビリテーション治療も変化しています。より効果的なリハビリテーション治療を提供するために、当附属病院に入院しリハビリテーションを受けられた脳卒中患者さんに対して、リハビリテーションの効果検証と患者さんが脳卒中後に快適な生活を送るために重要な因子の検討を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年4月1日～2024年3月31日の間に川崎医科大学附属病院脳卒中科・脳神経外科・リハビリテーション科において脳卒中リハビリテーションの治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2029年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において脳卒中リハビリテーション治療を受けられた方で、研究者が診療情

報をもとに年齢や体重などの基本的な情報とリハビリテーションに関連するデータを選び、リハビリテーションの効果に関する分析を行い、効果的なりハビリテーションを行う方法について調査します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、脳卒中の種類（出血・梗塞）、麻痺の程度、日常生活動作能力 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 理学療法士

氏名：吉田 耕治

電話：086-462-1111 内線 22830（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-462-7897

E-mail：pt.yoshida@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。